

## 第4回 さいたま市水道事業審議会

### 書面会議 資料一覧

資料1 第3回さいたま市水道事業審議会での意見及び対応

資料2 さいたま市水道事業長期構想（2021～2030）素案（案）

資料3 素案に対する審議会での意見反映一覧

資料4 御意見記入用紙

（返信用封筒を同封しています。）

資料5 各資料等についての説明

○御意見への対応

具体的な箇所	意見	回答
投資の基本的な考え方 ①施設・設備の廃止・統合、合理化	・「ダウンサイジング／スペックダウン」の違いが分かるかどうか。カタカナが多いという意見が出てくるのではないかと感じました	ご指摘の趣旨を踏まえ、イメージ図とともに説明を入れ、分かりやすく示します。
投資の基本的な考え方 ①施設・設備の廃止・統合、合理化	・ダウンサイジングについてわかりやすく示してください	
投資の基本的な考え方 ①施設・設備の廃止・統合、合理化	・統廃合の考え方の中で、予備力確保について考慮する必要があると思います。基本方針の中に「バックアップも考慮し…」等の文言を入れた方がベターだと感じました	ご指摘のとおり、修正します。
(2)水道施設再構築における整備方針	・2050年を目標とするのは長いと思います。まずは、改訂する見込みがあるのかないのか教えてください。改訂の見込みがあれば、それも見越して取り込むべきだと思います	関連計画であるさいたま市公共施設マネジメント計画と整合させ、中・長期的な視点で取り組むため、2050年を目標としています。なお、必要に応じて、適宜計画の見直しを行う記述を追記します。
「さいたま市公共施設マネジメント計画」	・上水道施設がインフラの企業会計施設に位置付けられていますが、シンプルに「インフラ」ではなく「企業会計施設」とすると市民の方に分かりにくいので、解説が欲しいです	ご指摘の趣旨を踏まえ、分かりやすい表現に変更します。
(2)水道施設再構築における整備方針 ①深井戸	・「注※1 非常時の保有効果」で「被害額」とありますが、保有効果なので「被害の防止額」等の表現に変えた方がいいと思います	ご指摘の趣旨を踏まえ、表現を変更します。
(2)水道施設再構築における整備方針 ①深井戸	・「非常時の保有効果と平常時の保有コストについて、比較・検討を行い、減らしていく」とありますが、近年、災害が多いので災害を踏まえてしっかり検討して欲しいです	ご指摘の趣旨を踏まえ、災害時を踏まえた表現に変更します。
(2)水道施設再構築における整備方針 ②浄・配水場	・「浄水場の全面更新」とありますが、県企業局の浄水場を含めての更新と誤解を与えてしまう可能性があると感じました	ご指摘の趣旨を踏まえ、分かりやすい表現に変更します。

○御意見への対応

具体的な箇所	意見	回答
(3)水道施設再構築における整備費用の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮にこのままグラフを出す場合、ダウンサイジングを実施した後なのか前なのか分かりません。ダウンサイジングを実施しない場合とした場合とで両方のグラフにするか、またはダウンサイジングの必要性が分かるグラフにした方が良いと思います。</li> <li>・ビフォーとアフターでグラフがあったほうがわかりやすいです。</li> </ul>	<p>グラフについては、投資・財政の基本的な考え方には中長期的な見通しが必要となるため、整備費用及び料金収入についてはグラフで示していきます。</p> <p>ご指摘の趣旨を踏まえ、グラフで示した整備費用や料金収入の算出方法につきまして説明を追記します。さらに、再構築による整備によりどの程度効果があるのかが分かるように、法定耐用年数での整備費用(ビフォー)及び再構築による整備費用(アフター)の2つを示します。</p>
(3)水道施設再構築における整備費用の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期構想の中で、ここまでのグラフを出す必要があるのか疑問です。</li> </ul>	
(3)水道施設再構築における整備費用の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4条の話から3条の話になっていますが、この書きぶりで市民の方に分かりやすいのかどうか</li> </ul>	<p>経営戦略マニュアルにおいても、投資、財政の順であるため、この順番で示しますが、ご指摘の趣旨を踏まえ、素案では分かりやすく示していきます。</p>
投資に影響を与える要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不透明な影響を与える要素を書くべきか疑問に思いました。現状の課題に入れた方が良いと思いました</li> </ul>	<p>ご指摘の趣旨を踏まえ、第3章現状と課題に盛り込みます。</p>
(1)料金収入の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「前提として料金値上げをしなければ」、「現行水道料金そのままとすれば」等を追記した方が良いと思います。現行の料金そのまま計算すると人口減少で水の使用量が減り、料金収入が減っていくということを明記した方が良いと思います</li> </ul>	<p>ご指摘のとおり、追記します。</p>
(2)財政運営の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナのことを考えて、ICTを活用して出来るだけ人の接触の機会を減らす、BCPの充実を図る等、素案を作成する際に検討してください</li> </ul>	<p>ご指摘の趣旨を踏まえ、第5章「構想を実現するための施策」にて盛り込みます。</p>
(2)財政運営の基本的な考え方 ①水道料金について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「料金体系」と「料金単価」とでは意味合いが違うと思います。ここには「単価」の話が書かれているのに対して、意識的に「料金体系」という言葉を使用しているのでしょうか</li> </ul>	<p>ご指摘のとおり、誤解を招く表記であるため「現行の料金体系・料金水準」の表記に変更します。</p>

## ○御意見への対応

具体的な箇所	意見	回答
(2)財政運営の基本的な考え方 ①水道料金について	・料金体系は維持して料金水準は見直すという意味で捉えており、長期構想の中に「料金は可能な限り維持していく」という方針を立ててしまうと経営計画を縛ってしまわないか心配です。あまり誇張した表現とならないよう検討した方が良いと思います	ご指摘の趣旨を踏まえ、収支の悪化を引き起こす不確定な要素が生じた場合においてはこの限りでは無い旨が伝わるよう、ただし書き以降の文言を一部変更します。
(2)財政運営の基本的な考え方 ①水道料金について	・「検証していく必要があります」とありますが、必要があれば料金改定も行うことを追記した方が良いと思います。料金改定と言っても値下げを行う可能性もあるので、「値上げ」ではなく「料金改定」の可能性に触れて欲しいです	今後も可能な限り現行料金を維持していく方針をアナウンスしてきた経緯を踏まえると、料金改定を示唆する表記は誤解を招きかねないことから当初案のとおりとさせていただきます。
(2)財政運営の基本的な考え方 ②企業債について	・内部留保資金について明記されていません。借金をして事業をするのかしないのかだけで良いのか、内部留保資金のことは考えなくて良いのか意見を聞かせてください	ご指摘の趣旨を踏まえ、企業債の中で、内部留保資金についても触れていきます。
7章長期構想のフォローアップ	・長期構想2030年を目標としている中に、財政の目標年度は50年というのは目標ではないと感じます。目標は30年ですが、きちんと50年を見据えているという表現の方が良いと思います。変更可能でしょうか	ご指摘の趣旨を踏まえ、第6章では中・長期的な見通しのため、30年後まで予測を行っていますが、長期構想は50年後、100年後を見据えて、目標を2030年度としておりますので、分かりやすく示します。
7章長期構想のフォローアップ	・脚注でKPIの説明があれば分かりやすいと思いますので検討ください	ご指摘の趣旨を踏まえ、第5章「構想を実現するための施策」の最後に成果指標を示しておりましたが、第7章のフォローアップに合わせて掲載することとし、わかりやすく示します。
-	・ダウンサイジングの考え方は全て自前で行う場合、隣の市と手を組んだ場合、県と一体になった時の統廃合の場合とで出来具合が違うと思います。そういったことを「今後検討していく」等の一文が必要だと感じました。	ご指摘の趣旨を受け、第5章の施策のところで「他事業体との連携」について示していきます。

審議会	該当箇所	意見	対応	素案反映箇所
第1回	全体	・今回の長期構想は市民への発信も重要だと思いますので、新たな広報活動に取り組んで頂きたいと思います。	ご指摘のとおり、長期構想の策定を市民へ積極的に発信していきたいと思います。	P58 5-4施策②の内容に記載
第1回	全体	・水道使用量が減少している現状を含めて、市民に伝えて頂くことが重要だと思います。 ・さいたま市の水道水の美味しさをPRしても良いのではないかと思います。	ご指摘のとおり、第5章の施策の中で積極的な情報提供を掲げており、広報誌等で今後市民へ分かりやすくPRする旨を示していきます。	P58 5-4施策②の内容に記載
第1回	全体	・現状と課題の書き方をもう少し丁寧にして頂ければと思います。	ご指摘の趣旨を受け、素案では詳細に示していきます。	P12～46 第3章全体 (現状と課題の説明を入れてあります)
第1回	(3-2) 水源・水質 (1) 水源	・水道の9割が県水からの受水とありますが、長期構想の中では連携一体化をもう少し強く打ち出す必要があり、企業局とさいたま市で一つになった水安全計画を作成し、災害対応についても用水供給と末端供給を通した計画づくりをすべきと考えます。	ご指摘の趣旨を受け、第5章の施策のところで「他事業体との連携」について示していきます。	P55 5-1 施策②の1行目に記載
第1回	(3-3) 水道施設 (2) 管路	・「更新需要の増大を踏まえた管路の老朽化対策、ダウンサイジングの検討」と書かれていますが、可能であれば日本語で表記して頂けると分かりやすいと思います。	ご指摘の趣旨を受け、素案では注釈等を入れて、分かりやすくしていきます。	全体 注釈を必要ページの下に記載
第1回	(3-3) 水道施設 (2) 管路	・「平成26年度にダクトイル鑄鉄管の更新基準を設定しました」とありますが、1%だと不足しているから課題なのか、1%は適正でもコストが掛かるから課題なのか書かれておらず、説明をして頂いた方が良くと思います。	ご指摘の趣旨を受け、素案では課題を明確にするため、説明を加えて示していきます。	P26 3-3(2)②課題の説明に記載
第1回	(3-4) 災害対策 (2) 危機管理	・昨今台風や豪雨による風水害、停電による断水が発生していることから、地震以外の予防対策が必要と感じます。	ご指摘のとおり、素案においては地震以外の災害についても想定してまいります。	P33 3-4(2)②課題の説明に記載
第1回	(3-5) サービスと連携 (1) 受付・窓口	・ICTについての話を触れていますが、こちらも全体を通した情報システムや水質管理システムを構築する時期にきていると思います。水道標準プラットフォームのような考えを長期構想の中でもしていくべきだと思います。	ご指摘の趣旨を受け、第3章の今後の課題のところで、水道標準プラットフォームについて示していきます。	P45 3-6(1)②課題の説明に記載 (注釈にも記載)

審議会	該当箇所	意見	対応	素案反映箇所
第1回	(3-5) サービスと連携 (1) 受付・窓口	・ICTの活用を通じた更なる利便性の向上とありますが、水道スマートメーターを用いた検針業務だけではなく、漏水を早期に発見する等のお客様サービスの向上に繋がるような取り組みを試案に入れて欲しいです。	ご指摘の趣旨を受け、第3章の今後の課題のところ、スマートメーターについて示していきます。	P37 3-5(1)②課題の説明に記載 (注釈にも記載)
第1回	(3-5) サービスと連携 (2) 広報活動	・受水槽や高架水槽等の水槽の維持管理はどのように行っているのか、安全な水を安定的に供給しているのかどうか、マンションでは維持管理をしていないために水質が悪くなっている等の現状があれば、課題として書いて欲しいと思います。	ご指摘の趣旨を受け、素案では課題を明確にするため、説明を加えて示していきます。	P20 3-2(2)①現状の説明に記載 (注釈にも記載)
第1回	(3-6) 経営・財政 (1) 財政	・さいたま市水道局で供給している水は、飲料水だけでしょうか。データを見ると、飲料水だけが原因かどうかが分かりづらく、他の用途に使用している水も供給しているのであれば、そのデータも踏まえて提示して頂きたいです。	ご指摘のとおり、用途別の使用水量の分析もしておりますので、素案では示していきます。	P45 3-6(1)図3-6-6用途別調定件数増減の割合の推移を記載
第1回	(3-6) 経営・財政 (1) 財政	・料金体系は平成12年度を維持とありますが、当時から家族構成が変わってきていることで、収支比率が減少していることを記載した方が良いと思います。	ご指摘の趣旨を受け、素案では記載を行います。	P44 3-6(1)図3-6-4世帯構成割合の推移、図3-6-5口径別調定件数・調定水量の推移を記載
第1回	(3-6) 経営・財政 (2) 組織・人材育成	・今後ある程度の官民連携をどうするのか、また、コアとなる職員の官民の役割分担の基本方針を打ち出す必要があると感じました。	ご指摘の趣旨を受け、第5章の施策のところ、民間活力について示していきます。	P59 5-5施策②民間活力の活用の検討に記載
第1回	(3-6) 経営・財政 (3) 国際協力 (4) 環境対策	<p>・国際協力は人材育成、環境対策は経営効率化と書かれていますが、どちらかというと国際協力は途上国の支援、環境対策は環境への貢献だと認識しています。長期構想は組織としての経営指針となる一方、市民の方へ発信をするツールでもあるので、誤解を招く恐れがあると懸念しています。</p> <p>・国際貢献、環境対策について、もう少し広い意味で捉えられるように表記した方が良いと思います。</p> <p>・環境について市民の方も非常に興味を持っていることと思いますので、環境対策やJICAと協力しているという部分をもう少し分かりやすくPRして頂きたいと思ひます。</p> <p>・「経営・財政」の中に、「財政」、「組織・人材育成」、「国際協力」、「環境対策」と別のカテゴリーのものが詰め込まれているように受け取れます。市民の方にも分かりやすく、別項にした方が良くはないでしょうか。</p>	ご指摘の趣旨を受け、「経営・財政」から国際協力と環境対策を別項目にし、この2項目を「社会貢献の取組」として別途記載し、内容を充実させます。また「経営・財政」をより明確にするために、「健全経営」に変更します。	<p>P48～49 社会貢献の取組に記載</p> <p>P41～47 「3-6健全経営」に変更</p>

審議会	該当箇所	意見	対応	素案反映箇所
第2回	4 将来像	・将来像の日本語に違和感があります。“市民とともに『築く』”等に変えたほうが良いと思いました。	ご指摘を受け、文言は修正ませんが、「市民とともに」が主題、「常に信頼されるさいたま市の水道」が副題であることを強調し記載することで、日本語の違和感をなくしていきたいと思います。	P50 将来像に反映
第2回	4 基本施策	・“経営・財政”を“健全経営”と“社会貢献の取組”と分けるとありましたが、第5章の“基盤強化と社会貢献”が別立になると、4ページの“社会貢献”の位置付けが不明確になると感じました。そのあたりを整備して検討いただければと思います。	社会貢献については、水道事業を主体とする基本施策とともに、将来像を実現するための補完的な施策として位置付けます。	P51 図4-3-1将来像概念に反映
第2回	4 基本施策	・第5章“社会貢献”の全体の基本施策をどうするのかも加えて頂ければと思います。		
第2回	4 基本施策	・“お客さまサービス”という言葉に違和感があります。市民以外でもサービスは受けるからでしょうか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、防災訓練など地域との連携を示す場合は、「市民」とし、それ以外は、「お客さま」と使い分け、より明確に表現します。	(全体) 使い分けを実施
第2回	4 基本施策	・“お客さまサービス”という言い方に違和感を覚えました。		
第2回	5章 冒頭	・「基本姿勢」はどのような位置づけなのか教えてください。課題が出てきて、基本施策があって、理想像があって、基本姿勢はどこに入ってくるのかイメージが付きませんでした。	ここで記載した基本姿勢は、将来像、基本理念、基本施策を考える上での前提条件のような位置づけです。素案では、この考えを文章にて示していきます。	P54 第5章冒頭5～7行目に記載
第2回	(5-1)【安全】安全な水道水の供給	・水安全計画のところで“他事業体との連携”という表現を入れるという報告がありました。やはり骨子の中にも入れたほうが良いと感じました。	ご指摘の趣旨を受け、骨子でも入れ込みます。	P55 5-1施策②の1行目

審議会	該当箇所	意見	対応	素案反映箇所
第2回	(5-2)【安定】常に安定した水道水の供給	・施策①事業1は、施策②に分類されるのではないのでしょうか。分け方を明確にした方が良いです。	ご指摘の趣旨を受け、施策については①と②が相互に関連しているので、統合することとします。	P56 5-2施策は一つに統合
第2回	(5-3)【災害対策】災害・事故対策の推進	・危機管理対策についてですが、最近、和歌山市で“断水します”と3日前に突然言われたという話があったので、水道利用者の方への情報伝達のタイミングや手法、代替給水はどうするのか等、そういった部分にも触れて頂くと良いと感じました。	ご指摘の趣旨を踏まえ、非常時の情報提供につきまして、情報提供推進事業において追記し、内容を充実させます。	P58 5-4施策②3行目及び情報提供推進事業に記載
第2回	(5-3)【災害対策】災害・事故対策の推進	・“緊急時の給水に備えて、応急給水施設を整備します。”という表現になっていますが、今でも応急給水場所があり誤解を招くと思いますので、“充実させます”等の表現が良いかと思います。	ご指摘のとおり、修正します。	P57 5-3施策②応急活動体制の構築の表現を変更
第2回	(5-3)【災害対策】災害・事故対策の推進	・4週間以内が市民にとって早期と言えるかどうか、4週間経たないと全体が断水しているというようなイメージに取られる可能性があると思いますので、例えば、完全復旧するのが4週間以内で、段階的に直していきます等の表現が良いと思います。	ご指摘の趣旨を踏まえ、事業内容につきまして表現を改めます。	P57 5-3施策②の表現を変更
第2回	(5-3)【災害対策】災害・事故対策の推進	・“4週間”というのは地域防災計画と整合を図られているのでしょうか。そうでないならば整合は図った方が良いと思います。	ご指摘の趣旨を踏まえ、地域防災計画と整合させた表現とします。	P57 5-3施策②の表現を変更
第2回	(5-3)【災害対策】災害・事故対策の推進	・災害対策については、サイバーセキュリティについても追加した方が良いと思います。	ご指摘の趣旨を踏まえ、事業の内容に盛り込みます。	P57 5-3施策②水道局危機対応集整備事業に記載
第2回	(5-4)【サービス】お客さまサービスの充実	・ICTはどのように活用されるのでしょうか。ICTの利用拡大だけだと具体的な内容が分からないので、教えてください。	ご指摘の趣旨を踏まえ、事業内容につきましてより丁寧に示していきます。	P58 5-4施策①お客様サービスの向上に記載
第2回	(5-4)【サービス】お客さまサービスの充実	・“促進を図ります”という表現は他人事のように聞こえるので“推進を図ります”に表現を変えた方が良いと思います。	ご指摘のとおり、修正します。	P58 5-4(1)目的の3行目の表現を変更



審議会	該当箇所	意見	対応	素案反映箇所
第2回	(5-4)【サービス】 お客さまサービスの充実	・「情報提供推進事業」について、非常時・緊急時にどのような対応をしてくれるのか、そのような考えを取り入れてほしいと思います。	ご指摘の趣旨を踏まえ、非常時の対応についても取り入れていきます。	P58 5-4施策②3行目及び情報提供推進事業に記載
第2回	(5-5)【基盤強化】 経営基盤の強化	・【基盤強化】について、“情報技術の活用”をいれて頂きたいです。情報技術の活用は広い意味で経営基盤の強化の施策の一つでもあります。	ご指摘の趣旨を踏まえ、既存の事業であった「民間活力の活用の検討」の内容に盛り込みます。	P59 5-5施策②民間活力の活用の検討に記載
第2回	(5-5)【基盤強化】 経営基盤の強化	・“包括的民間委託”の言葉は使用しない方が良いでしょう。	ご指摘の趣旨を踏まえ、「より効率的な民間委託」という表現に修正します。	P59 5-5施策②民間活力の活用の検討に記載
第2回	(5-5)【基盤強化】 経営基盤の強化	・官民連携の手引きの要旨を長期構想に盛り込んだ方が良いでしょう。	ご指摘の趣旨を受け、素案で盛り込んでまいります。	P47 参考として表3-6-6を記載
第2回	5 成果指標 (KPI) について	・施策が5つあるため、KPIの指標も5つある方が良いでしょう。すべて数値でなくても、言葉で“こういうところを目指します”のようなものを示す方が良いでしょう。	ご指摘を受け、局内で再度検討をさせていただきました。その結果、長期構想はあくまで全体に係る主要指標のみである2指標とし、中期経営計画で主な事業の指標を定めると区別しながら、取り組んでいきたいと考えています。	P67 成果指標を記載
第2回	5 成果指標 (KPI) について	・指標が2つ出ている中でもう一つ、“安定・持続した水質管理と水の供給”を加えて頂きたいです。		
第2回	5 成果指標 (KPI) について	・進捗管理について、KPIに、アウトプットではなくアウトカム指標を入れていただきたいです。“満足度の向上”など、市民の意見が入るような指標です。		
第3回	投資の基本的な考え方 ①施設・設備の廃止・統合、合理化	・「ダウンサイジング／スペックダウン」の違いが分かるかどうか。カタカナが多いという意見が出てくるのではないかと感じました	ご指摘の趣旨を踏まえ、イメージ図とともに説明を入れ、分かりやすく示します。	P24 最初に言葉が出てくるところに説明とともにイメージ図を追加
第3回	投資の基本的な考え方 ①施設・設備の廃止・統合、合理化	・ダウンサイジングについてわかりやすく示してください		

審議会	該当箇所	意見	対応	素案反映箇所
第3回	投資の基本的な考え方 ①施設・設備の廃止・統合、合理化	・統廃合の考え方の中で、予備力確保について考慮する必要があると思います。基本方針の中に「バックアップも考慮し…」等の文言を入れた方がベターだと感じました	ご指摘のとおり、修正します。	P61 6-1(1)①に記載
第3回	(2)水道施設再構築における整備方針	・2050年を目標とするのは長いと思います。まずは、改訂する見込みがあるのかないのか教えてください。改訂の見込みがあれば、それも見越して取り込むべきだと思います	関連計画であるさいたま市公共施設マネジメント計画と整合させ、中・長期的な視点で取り組むため、2050年を目標としています。なお、必要に応じて、適宜計画の見直しを行う記述を追記します。	P62 6-1(2)7行目以降に記載
第3回	「さいたま市公共施設マネジメント計画」	・上水道施設がインフラの企業会計施設に位置付けられていますが、シンプルに「インフラ」ではなく「企業会計施設」とすると市民の方に分かりにくいので、解説が欲しいです	ご指摘の趣旨を踏まえ、分かりやすい表現に変更します。	P63 6-1[さいたま市公共施設マネジメント計画]の説明の表現を変更
第3回	(2)水道施設再構築における整備方針 ①深井戸	・「注※1 非常時の保有効果」で「被害額」とありますが、保有効果なので「被害の防止額」等の表現に変えた方がいいと思います	ご指摘の趣旨を踏まえ、表現を変更します。	P62 6-1(2)①3行目の表現を変更
第3回	(2)水道施設再構築における整備方針 ①深井戸	・「非常時の保有効果と平常時の保有コストについて、比較・検討を行い、減らしていく」とありますが、近年、災害が多いので災害を踏まえてしっかり検討して欲しいです	ご指摘の趣旨を踏まえ、災害時を踏まえた表現に変更します。	P62 6-1(2)①3行目の表現を変更
第3回	(2)水道施設再構築における整備方針 ②浄・配水場	・「浄水場の全面更新」とありますが、県企業局の浄水場を含めての更新と誤解を与えてしまう可能性があると感じました	ご指摘の趣旨を踏まえ、分かりやすい表現に変更します。	P62 6-1(2)②9行目の表現を変更

審議会	該当箇所	意見	対応	素案反映箇所
第3回	(3)水道施設再構築における整備費用の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮にこのままグラフを出す場合、ダウンサイジングを実施した後なのか前なのか分かりません。ダウンサイジングを実施しない場合とした場合とで両方のグラフにするか、またはダウンサイジングの必要性が分かるグラフにした方が良いと思います。</li> <li>ビフォーとアフターでグラフがあったほうがわかりやすいです。</li> </ul>	<p>グラフについては、投資・財政の基本的な考え方には中長期的な見通しが必要となるため、整備費用及び料金収入についてはグラフで示していきます。</p> <p>ご指摘の趣旨を踏まえ、グラフで示した整備費用や料金収入の算出方法につきまして説明を追記します。さらに、再構築による整備によりどの程度効果があるのかが分かるように、法定耐用年数での整備費用(ビフォー)及び再構築による整備費用(アフター)の2つを示します。</p>	P64 6-1(3)図6-1-1を変更
第3回	(3)水道施設再構築における整備費用の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期構想の中で、ここまでのグラフを出す必要があるのか疑問です。</li> </ul>	<p>経営戦略マニュアルにおいても、投資、財政の順であるため、この順番で示しますが、ご指摘の趣旨を踏まえ、素案では分かりやすく示していきます。</p>	P61～66 第6章全体に反映
第3回	(3)水道施設再構築における整備費用の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>4条の話から3条の話になっていますが、この書きぶりで市民の方に分かりやすいのかどうか</li> </ul>	<p>ご指摘の趣旨を踏まえ、第3章現状と課題に盛り込みます。</p>	P24 3-3(1)②課題の説明に記載
第3回	投資に影響を与える要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>不透明な影響を与える要素を書くべきか疑問に思いました。現状の課題に入れた方が良いと思いました</li> </ul>	<p>ご指摘のとおり、追記します。</p>	P65 6-2(1)4行目に記載
第3回	(1)料金収入の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>「前提として料金値上げをしなければ」、「現行水道料金のままとすれば」等を追記した方が良いと思います。現行の料金のまま計算すると人口減少で水の使用量が減り、料金収入が減っていくということを明記した方が良いと思います</li> </ul>	<p>ご指摘の趣旨を踏まえ、第5章「構想を実現するための施策」にて盛り込みます。</p>	P57 5-3施策②水道局危機対応集整備事業に記載 P59 5-5施策②2行目の表現に反映
第3回	(2)財政運営の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナのことを考えて、ICTを活用して出来るだけ人の接触の機会を減らす、BCPの充実を図る等、素案を作成する際に検討してください</li> </ul>		

審議会	該当箇所	意見	対応	素案反映箇所
第3回	(2)財政運営の基本的な考え方 ①水道料金について	・「料金体系」と「料金単価」とでは意味合いが違うと思います。ここには「単価」の話が書かれているのに対して、意識的に「料金体系」という言葉を使用しているのでしょうか	ご指摘のとおり、誤解を招く表記であるため「現行の料金体系・料金水準」の表記に変更します。	P65 6-2(2)①1行目に記載
第3回	(2)財政運営の基本的な考え方 ①水道料金について	・料金体系は維持して料金水準は見直すという意味で捉えており、長期構想の中に「料金は可能な限り維持していく」という方針を立ててしまうと経営計画を縛ってしまわないか心配です。あまり誇張した表現とならないよう検討した方が良いと思います	ご指摘の趣旨を踏まえ、収支の悪化を引き起こす不確定な要素が生じた場合においてはこの限りでは無い旨が伝わるよう、ただし書き以降の文言を一部変更します。	P65 6-2(2)①2行目以降の表現を変更
第3回	(2)財政運営の基本的な考え方 ②企業債について	・内部留保資金について明記されていません。借金をして事業をするのかしないのかだけで良いのか、内部留保資金のことは考えなくて良いのか意見を聞かせてください	ご指摘の趣旨を踏まえ、企業債の中で、内部留保資金についても触れていきます。	P66 6-2(2)②4行目以降の表現を変更
第3回	7章長期構想のフォローアップ	・長期構想2030年度を目標としている中に、財政の目標年度は50年というのは目標ではないと感じます。目標は30年ですが、きちんと50年を見据えているという表現の方が良いと思います。変更可能でしょうか	ご指摘の趣旨を踏まえ、第6章では中・長期的な見通しのため、30年後まで予測を行っていますが、長期構想は50年後、100年後を見据えて、目標を2030年度としておりますので、分かりやすく示します。	P64 6-1(3)1行目以降に記載 P65 6-2(1)3行目に記載
第3回	7章長期構想のフォローアップ	・脚注でKPIの説明があれば分かりやすいと思いますので検討ください	ご指摘の趣旨を踏まえ、第5章「構想を実現するための施策」の最後に成果指標を示しておりましたが、第7章のフォローアップに合わせて掲載することとし、わかりやすく示します。	P67 脚注に記載
第3回	-	・ダウンサイジングの考え方は全て自前で行う場合、隣の市と手を組んだ場合、県と一体になった時の統廃合の場合とで出来具合が違ふと思います。そういったことを「今後検討していく」等の一文が必要だと感じました。	ご指摘の趣旨を受け、第5章の施策のところで「他事業体との連携」について示していきます。	P59 5-5施策②2行目の表現に反映

御氏名

---

ページ	意見内容

令和2年5月25日（月）までにご返信下さい。  
郵送の場合は必着でお願いします。

各資料等についての説明

資料1 第3回さいたま市水道事業審議会での意見及び対応

前回、3月11日（水）に開催しました第3回審議会で頂いた意見につきまして、事務局での対応を示したものです。

資料2 さいたま市水道事業長期構想（2021～2030）素案（案）

第1回から第3回の審議会において、長期構想の各章ごとに骨子となる部分を審議してまいりました。委員の皆様から頂いた御意見を反映させ、素案（案）としてまとめたものです。

資料3 素案に対する審議会での意見反映一覧

第1回から第3回の審議会において、委員の皆様から頂いた御意見が素案（案）（資料2）のどこにどのように反映させたのかを示したものです。

資料4 御意見記入用紙

これらの資料のうち、資料2の素案（案）につきまして、御意見を頂ければと思います。資料4の御意見記入用紙に御意見を御記入頂き、意見が特にない場合はその旨を御記入ください。なお、具体の箇所についての御意見の際は、御指摘のページ数を記入していただき、御意見を頂ければと思います。

同封しております封筒にて、5月25日必着にて郵送していただくか、あるいは資料4については書式を後日メールで送付させていただきますので、メールで返信していただくか、どちらかでの対応をお願いします。

期限は5月25日（月）までとさせていただきますので、よろしくお願いします。